

R8予算案	8.5億円
R9債務負担行為	16.1億円
(R7予算	3.4億円)

中央卸売市場の再整備

食の流通拠点としての機能を備え、奈良県民の食の安全・安心を確保する「市場エリア」と、市場の機能や立地を活かし、地域の賑わいを創出する「賑わいエリア」について、親和性のある一体的な整備を行う。

市場エリア（市場機能の高機能化・効率化）

- ・食の流通拠点機能を充実させ、持続可能な市場を目指す。
- ・両エリアの一体的な整備を念頭に置きながら、先行して整備

賑わいエリア（「食」を通じた地域の賑わい拠点創出）

- ・「食」と親和性の高い一般消費者向けの賑わいを創出
- ・市場機能の強化、活性化に資する施設の整備についても検討

中央卸売市場再整備推進事業

R 8 予算案 8.5億円 (R 7 予算 3.4億円)
R 9 債務負担行為 16.1億円

- 市場エリア整備事業者の再募集 等
- 埋蔵文化財調査
 - 本掘調査：市場北側用地
 - 試掘調査：現市場敷地
- 市場北側用地の造成工事（R8～R9）
 - 工事面積：約3.8ha
 - 工事内容：造成、水路改築、調整池整備（ほか）

【再整備後のイメージ】



※ 賑わいエリアの整備内容は市場エリアの整備中に検討するため現時点では未確定

〈問い合わせ先〉 食農部 中央卸売市場再整備推進室 吉田室長補佐 (0743-56-7155)

県産農産物等の海外への販路拡大を支援

人口減少に伴い、国内における農産物の需要の縮小が見込まれる中、農業者の所得向上を実現するための取組を実施

①海外での販売プロモーション

R 8 予算案 5,638万円 (R 7 予算 4,128万円)

- ・海外小売店や飲食店での奈良県フェアの開催
- ・海外における県産農産物等のニーズ調査
- ・国内外の展示商談会出展による県産食品の販路拡大
- ・生産者向けに輸出セミナーを開催



香港の高級スーパーでの販売プロモーション



展示商談会(FOODEX JAPAN)出展による県産食品の販路拡大

②(新)県産農産物の輸出促進に向けた生産拡大を支援

R 8 予算案 295万円 (R 7 予算 ー)

- ・イチゴ：輸出に取り組む生産者の組織化を支援
- ・茶：海外向け病害虫防除技術を普及



輸出向け品種として期待される「古都華」(写真左)、「奈乃華」(写真右)



海外で需要が高いてん茶

③県産農産物の輸出を支援する研究開発

R 8 予算案 754万円 (R 7 予算 850万円)

- ・イチゴの長距離輸送に向けた果実品質保持技術の開発
- ・輸出向け茶の無農薬栽培技術の確立
- ・輸出拡大に対応する切り枝花木の生産技術開発



イチゴ「古都華」



大和茶



切り枝花木(アセビ)

〈問い合わせ先〉

- ① 食農部豊かな食と農の振興課 下浦課長 (内線63332)
- ② 食農部農業水産振興課 奥谷参事 (内線63362)
- ③ 食農部農業水産振興課 馬場課長補佐 (内線63364)